

D 安心・安全な風土の醸成

学年、学級によって児童の実態は様々であるが、**教室は安心・安全な雰囲気**であるという土台の基に道徳の授業を行い、参観し合った。正解が一つではない教科である道徳で、いかに児童が安心して自分の思いや考えを素直に発言できていたかについて協議し、どのような学級にしていくことが大切かを話し合った。

5年『のりづけされた詩』

- ・誠実に行動することの意義
- ・自分自身とじっくり向き合う時間
- ・本音を出し合える学級づくり



3年『おかあさんのふふふ』

- ・お互いのよさを伝え合う
- ・自分のよさに気付く
- ・あたたかな雰囲気の醸成



1年『にんじんばたけ』

- ・私利私欲を満たしたいときの心の葛藤
- ・相手意識をもつことの大切さ
- ・登場人物に自分を重ねて



3年『同じなかまだから』

- ・「勝ちたい」気持ちと「仲間を大切にしたい」気持ちの葛藤
- ・自分事として考えられるように



児童が安心・安全に学校生活を送ることができるために

- ・仲間を大切にする気持ちを道徳だけでなく、**教育活動全体**の中で育てる。
- ・安心して意見を言い合える環境をつくる学級経営。